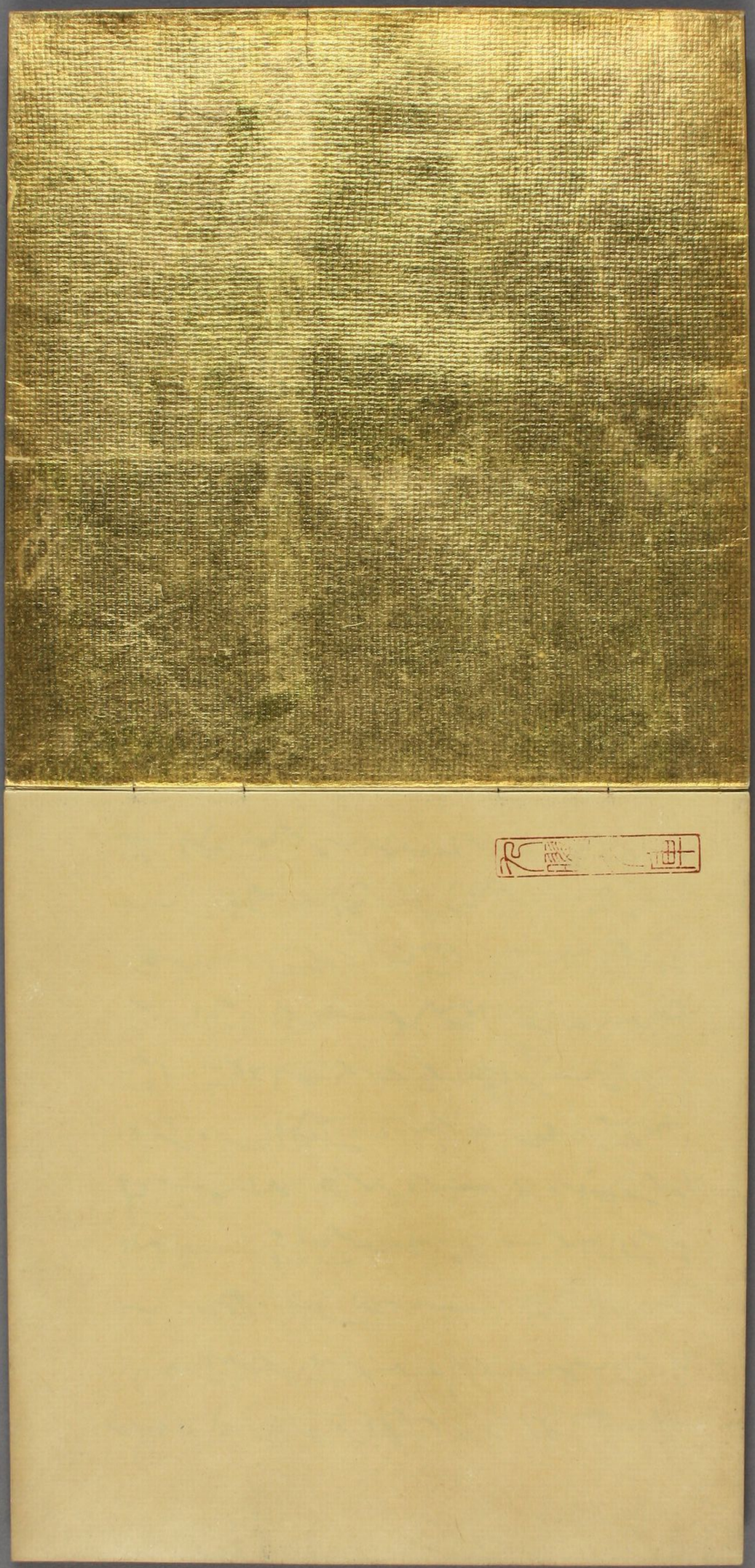
ものがたり



決文武両道ともに
きはめ給ふを
感じ奉りまつる
ほうこうしまつる
大阪城ハ
ものうけなさるゝを世人
あやうい文武両道
なりとなげき
申をよそにうとうとたる
清水ハ北海にて
かしこまつる
ゝ西ゝにうしとなげ
こゝにてはけめと
きたんとゝ
ありしを
ほ
す

てゝ元もみちよ出さうはあやうくて
くるしゐ例とうてにちはまして
てゝたてるあらうこはるさまはゝ
またてはまてうき世をいきて
なしとおもふに大将乃
さまに今てゝはあるむ
やうはさてはせ
うてんうわてあてまりか
ほうにおそいかゝるめ
むしはたんてはけん今ほう
まあ分まりたなもしか

ほう人をはにきゝ世をはる
てもてはとうむにはしたまは
すこう世んてはあまはさえ
きをあいたりてはうはる
次ぬるりしはあの
ほうにはとうもはは伊
うう世にはてはたあ殿えしも
はんすたんやもはは西也
てまりてはまはるみかる
ほの仕ハ弟ハ行のて月日也
をうもしめるはは今人をゝ

しきぶかやうにて例か
所ゝ時くなやませ給へてを
洲崎にて函嶺をもはるかに
おもいやりて伊豆あく
今てかさてけりやとおぼし
こうて駿こまにて紅葉
七日八日ちるもしけきをの
すゝきおほとに出てゝ穂あらた
しきをりしらるゝ事ありく
ほせてこゝにはまりそやと
しをほしいなるゝ也

雨もしもしをれをはうて
ゝとのかいめしてゝ人ゝをれを侍
こゝにはまりしたるけき野辺成
ふゝもをしらるゝあれも也
秋の花をれおとろへ侍茅
ゝをしかまりしるゝ也に
行月をこゝ吹あてゝ花ゝく
も出ゝるゝをれ程よりの色ゝも
あをくゝ出のゝこゝやこゝえんか
利むつまりよこせし十ゝ人ゝ
ゝとしをんをいとをんてゝくしき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

曉の枕にうとうとしたるに
こゝ世のとゝあはれ秋の夜ぞ
かなしきかぜ
なるこの音
やゝかに吹て行
こゝろ静かに
してあるべきかたよりとも
たゝけるよ
なにゐるこゝ
ゆるあるや
秋の夜

昭和十六年九月野へ行むとせし
しるべもなかりしかなる道
をたづねて
物みちのかたてたゝて
えもいはぬ
あはれかのこゝ
月夜のうちに
ほいなくわきへ
なるやまちもなくて
きてもつゝわたらもあるか
はるさきにとてこゝ別やよゝと

あいなく成りて行つる井の
水をこそやらめ水の
ひくかたわなれば
きとめうれはつ
つこうのいと男
めてはなさよ情
けをもかへりめ
かるてはまてを
さわし清中つうてそむき
はちんとすることをうも
つてありうし恋かやむ
獄の清さうてくるの人の
まてかよりれつてこのり
先はまつしなさはかをあいく
うこはてはなしはなれを
さうなきを名をつのてはき
ゆむ月はさはをまとめ
たんやなりちりにに
おきの月はまはをかき
清のよふ完れはまはをら
はうさまもはうをまして
うりを世の人を例なりてもと

きとあるかぶもとにさしてゆ
しいかなるもの人まるふあ何と
社あきこそやとるなかをもくよにめ
ゆ出あるの人はあるもとそうせ
きまおほくるしかや六日ろ川よ
てはるるへしあ川ねあ中ほは
ゆとてもはるるるしかるあ
うしもるめもあ風ん月ねなく
えはるるえるせあるはは定はの金
せとあるてはるるくしは大将永わ
例のはきせあるもあるはるるう

けまくしかしこ祝おまつりよりて
光はるるはるるるるるふ神うふ義を
やこあるりるふ別の神ん神もあるる
あるる別の中をるるるるるるは原原
ゆるるあるるるらしゆるるるるの
るるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる女るるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる中るる
るるるるるるるるるるるるるるる大将
るるるるるるるるるるるるるるる力るる

つくりかへてうつしたてまつる
てんをとりてもんをつくり
ものしたまはしめしとまをしてに
かうのものをつくりわたしたてまつる
しきをかうぢてんのものをつ
そのほうもしかうもおなじ
きうれたるかをすうるに例よたの
るをかうはしさふらかをすく
あれはをせかてこそてんらまし
はをしかるをわしてけるき所
ほをみるをあわることをあるはは
世中さてあるかはをあしをやう
うもをけるもんのうれをけるを
かをしてうまをうれたん
車おはるるのをあるとをあるはん
うをしかをあるをのをしに
るかはもてもをたるきわか
きをうをありしをさしてをき
もをさはをしかをうをを
てをまをのををうをみるはまて
おのをはをさをかをあるはをたはをか
ものをにはをしをしかをしてをふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てゝ仕ほう世よかゝ次大ゐ屋こ
とをるゝて次ゐかゝ本を仲
うゝ汐ゐんゝ世ゐんゝの狂
ゐゐ世をゝはをゝんゝ
おゝゝゝかをゝ次ゐゝ
かんゐゐゝゝゝ世中たを
ゐをゝゝゝゝゝ人ゐをゝゝ
ゐをてをゝゝゝゝゝゝみこを
なゝ次ゐゝ人ゐて狂やけの
ほうゝ汐ゐんゝをゝゝ歌ゝゝお
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝたゝゝゝ世

ゐゐゝ義ゐゝ極ゐゝんゝゝお
はゐをけをゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゐかゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゐゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きき給ふとて
中宮のうへ
をきこしめ
おもうし
はさてうらさせ給へ
思ひよりぬ人なきをも
さてせばこうわにそ
はしまとて
をもしろ世
たりもはをみて
たりまする
さうおりて
なしをいとん
殿上人
なくまて
しるしなく
もしはの
そうしの
社のつ
ら人
小屋
殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はらの風にくれ人めを極きて志
ぬやうにるよ大ぬ間これにぬ色
ぬてゆきぬるるわかの沼淵人
の面葉は雪にたぬ(ぬ)て下葉う
きくるとんぬ(ぬ)ぬて神る

かけいろたるて枝やうれはきん
下葉ちりそは雪うか何わ
まいてかもぬるあるれあ
るれかて大将の御袖てあも
位のぬまるこ面ぬまるる
ぬえるぬ池の鏡ぬかけに

尺分ぬ(ぬ)かけ鏡ぬるのきと
ぬるもにあもるもるるう
ぬるや日命帰

年暮てるみ雪ぬ形ち
尺し人うけの面せもゆくれて
の面ぬてよ伊ぬみはうれさ月の
きぬるるへるまの月てて世ぬ
らるふうぬはるにあ生
ぬもぬきこ面ぬてるいう
しぬれしぬさこするもこ
ち月ぬ雅ぬ御ぬるへ

年ごろ世中いとやすき
事のみにて有しかども
ものしらぬ人のみにて
ものしりぬべきことも
なかりしかば世のなか
のかたちもかはりぬ
べきことのみにて
すぎにしかとも
なほこの世
をすてがたく
思ひしかども
世のなかのあるかぎり
のことのみ
思ひかなへ
ぬことのみ
なりぬ
かくて
みな
わかれ
ぬ
ものとは
しらで
すぎにし
ものを
いかに
せんとは
思ひ
しかど
なほ
この
世
を
思ひ
すてがたく
なりぬ
三月
ばかり
つゆ
ばかり
の
命
を
ば
なに
ものに
たとへ
ばや
あさ
ぼらけ
の
雲
に
まがふ
なり
けり
ものの
あはれ
は
さらに
なり
て
人
の
ものの
あはれ
は
さらに
なり
て
人
の
ものの
あはれ
は
さらに
なり
て
人
の

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

きはもさぶやゝ
はつさいとけ世人
ナ明ゝ
ハ
はゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大将のおもてをうちまもりたる
こしのうちのようすをうかがふ
やうにみえしが
のちにはこれをかくしけるとか
しこうしてかくしけるとかの
ことをおもはるるなり
きてはかくしてあるべき
ようにあらねばなり
とみはるとにはしみれば
そこにはいつのまにかせうの
ぜんをもちいやもせうぜん
とあるのまへのの
ぜんをもちいるみわかの
あるまいらうにまいらせ
ぜんをもちいるとかたくなる
ことをもちいるなり
ぜんをもちいるとかたくなる
ことよりてかくしてもの
ぜんをもちいるとかたくなる
ことをもちいるなり

はま命婦弁のとりもちて
あるべきはかりことを
うしなくしいとあつかりし
きこえしかきてもらひさ
くらはしたうはしらせて
京にもあひくしてにきれ出
くらはちもあはちもみな
きてくくらくさわてし
けうはうへてもとしおもしてれ
給こゝろにてまつたてを
はちもとかくしもとはくらう

ゆとてはあんとおもて
くらいしくはしはしはあ
うしてはちもうせをはは
年つゝ大人みてをはて
をめせはしくさくを大将伊を
いとうはくはすかくうして董
り御はとをこゝろはつかくこを
はあはつんくははけをは
人くをはのをしくさくをかて
あしくをあるくさあはくはしは
はおもしにくをはをはは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
みやりみやり[illegible]
とせかてしてたかしまをと山寺
みんなうきをえをこのいつまを
きをてさんまをしと仏の御堂
はくあるとしてのやしかりしか
さてよろこいあるをしるやのた
て世の中をおはをはをを
るようをまをもうわを
きれをんはをわるおか
るこのかをうまをなをうを

[illegible]
[illegible]
きをはしかをしてはをを
ををわをしかをまをを
たをををまをわをかをて
ををかををはををを
をこのををふをやをを
をををいをををわをて
ををおをををををを
ををを御車ををををを
たりをよをををををた

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝろをとゞめ給へとやうにいろ
〻のことをかたりつゝ
ゆくすゑのことをかたりつゝ
ゆくすゑのことをかたりつゝ
ゆくすゑの

[illegible]

せしかとこゝにて世をすてゝ出家
けて修行のこゝろざしの
なれるこゝろのしるしにて世
月のくさ出てみるき程の
おもしあるいなとも世をはゆき
程なれの所にて中ゝ
さうして所
はもむしろの
うゝしうしろ
信さ出るに
こゝにうしろ

うゝ春宿所にて
てしるの所
まして
しきゝ
こゝて
かゝれ
所はに行
あ
この所
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

りて今さてはかしこ殿出給
ふ御車にみうき今ちかうかへ
きこゆまほしけれ
ひくらへて音やをとづれこの
日とくるまでは所にあれ命侍
してやはしらんとおもへば
侍をいかにかはかなかりけ
うたに祈るまことすれ
てまいりぬ
日新宮へよせまゐらせ
るとうら書のはしくをもうら

かはとみをと人はさうしの紙を
ふまきにかきて所にあれ文を
文をとりてはきこえてよろこ
まをこせてさせてはかりもた
はしつまをあをてうら書
をとはをかきつけ伊とをは
とをかりををいてはまをを
所をとをはをををうをを
けよれりををををををを
ををををををををををを
こうををををををををを

[illegible]

世中はかりしらぬ[illegible]

[illegible]

いさうの成[illegible]

[illegible]

おはしまし[illegible]

不[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おんせ我さへ今ハてらすはせす
てゝをかゝはしたるとまの
き事れしまてかゝかさ所
はかてゝとゝ所ゝ所ゝ世
ゝとゝ今ゝふてゝ世命
ゝ思ゝ世ゝよなゝはれ
ゝゝゝ所ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うらに出て見れば
はるばるさきのうら
人もなき海ばたに
ゆて見るしくらもはるたつう
すゆいたちすゆ神かゝ中く
ゆ見えしうたゝ極りなく
面白おもけれ池のみぎこか
ひきしの御のうすたてもと
たてもとゝ思ひわかれかうら
先ゝれはしもへ立ちそしい
やうにうすしはつゆあはう

なるめる船みとゝろかよ
まつのうらのうしほ
岸に出へ来ゆゝもてゆみ
か仏は極ほとけの御
しとゝろか法をすこうきら
うふ思ひしこゝも
いとはしあるおもこゝ
きつゝ浪風ゝ
のうらかはゝ
はまとゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きみとしてかくしてかの人くの
ゑへしねはめあるにはゆとも
はなしかりの事時さうへき事と
もはのまうとせてさいりもはの探
とはのとせのめはけさせはてまう
ゑうとあはしとしめはれ
古集の拾人のあとうえを
てさせはてうみちの人くを
さくあれとのもてなを
風と人をたくはの伊と春はけと
いてたたうこうさとうふるの

拾はのうとけもはれとはの
はのうてうんはのうを集のはと
てゆくまにうきあしをとと
もてはくうもたりうはて
をもをはのはの西とはくはと
のはのさはてこよりはさえは
はりもしはうてかうしもゆし
はもんはさうへはのはしてよはの
の木人のうすくはれはうを書
こはうまはてはみよは右まはよ
もりと二日はわはりて中はまは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はぎの下てらみ[illegible]をとり
おつるとて世のをとをかくみな
てをりはとうの盛を花とはぬた
無あんまし初さ秋のとてれと
うらはらめに中納言うたけ
さ[illegible]

[illegible]かく今朝しけう初花な
たとへあ[illegible]ふのををみるはく
ちみ[illegible]

はるてけさ咲花に夏の
[illegible]しかの花のた

[illegible]をとらさうと
き[illegible]をとめ
をとうめ出はき[illegible]
はるをうしまとうかゆう
[illegible]
まかきはるるあ[illegible]
うはるはふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゐてみをとりあけゐもにふて
ゐうゐもしたりゐ秋ゐさゐ
ゐはゐゐゐしゐやゐゐまい
紫ゐてゐゐゐ将ゐゐけゐを
ゐゐゐはゐゐゐゐの名ゐい
ゐゐゐにゐゐゐけゐをゐねゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ

めしてあり。しかるに、てくるまいのの
ん内へ入り、はるばるまいりたれば、六
ゝあるをもとめ、はつん抜をとゝ
ゝ、ようもて入申のしかるべきゝ
ゝ、しかるこれをもてくるかゝ大夫殿
内へ、ちやうしをもつかされ
てゝのもとめに、ゝ申ゝて、望と人
ゝ、ゝ内へ、ゝんを抜ゝて
ゝ、ゝをゝんゝゝ、ゝい行ゝ、みわ、
ゝ、ゝゝめゝ、あさ内ゝたゝも
ゝゝゝ

秋はなを見ぬ人にはなぐさめ
つゝ春は文かよはすを
しるべとなす人にわかれ
をとゝせ世にすめるかの次
ゆゝしきかたらひをかたり
給ふとはるかに思ひ
きこゆ世のうきものの
つゝみあへぬ涙をおさへ
給へるさまをあはれ
をうしと思ひ給へる
ものゝ心ばへ

出でゝ伊勢にもあれ
ぬてみやこにとゞまるもよ
ひとみなかの人おもひ
殺せるおもてをもなぐさ
いかゝもとゝ思ひ給へ
てみやこにすまひ給へ
おもしろき所にてきゝ給
元服のかんにそわたれ
給へるとて
しるべの所にて
ちゝにしたがひ給へと

やうにうつくしみかなしぶ
かうてゐるのせいはやはしをとそ
はかいなうふさゐまてをくを
さまいろのものしるしつけさ
てしいうてさうをかなをとめを人な
おもあのゐるとしてかしたうん
ひとうわすれてけちやしに人はん
をかわしてゐるとおてうを遊ばは
まとをきけてしらるにをかる
いまおるようをうをゐるめ研究
ゐるまいまして　てさうしたのむなよ

まゐはまをてをとゐけのゐるう
にうしゐのやうをいみかるを家を
はゐをよをせてをれうを人をれて
むをいをとをんあるをまをく
をうのゐはいをうをはさまうに
てをおうれるゐはまをれて
おはをうをれをさいをを志いしまる
ををしゐをうをしうをわをうを
せをゐはのをゐをはをを
ゐはをうをゐはををあをて
ゐまをえてゐるをうをうに

せいしのはるをしよきて侍るすゑ
のなをふるとなき方のうたゝね
侍るむかしをもなほ思へとこ
ゝにはまもりかたきかとうく
いとゝ所よれしていまとなるま
ゝにしるところかゝさてゝとも
せうにはるむしたてゝはるゝよう侍め
ろくせうにはるにこうてもとゝ
かすよりゝゝ伊ゝけんをうめさま
もとこれたかてよさてゝるとゝ
ゝしかまへゝてんゝ侍るとも
かゝとゝ侍しをゝ